

脳血管疾患



本日の内容



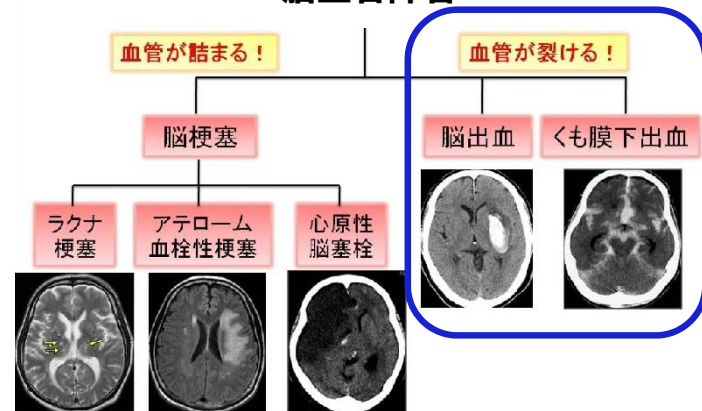
- ① 緊急時初動
- ② 治療の流れ
- ③ 種類
- ④ 治療
- ⑤ 高次脳機能障害
(含む失語)
- ⑥ てんかん
- ⑦ 嚥下障害

発症時の緊急連絡・対応

脳血管障害の治療の流れ



脳血管障害



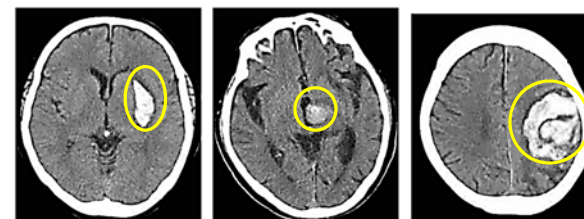
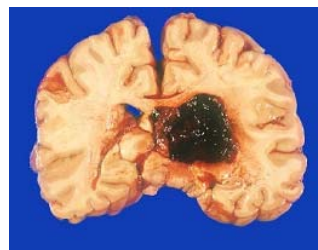
脳血管障害の分類



脳血管障害
(脳卒中)

デ イカスツワ国試対策ビデオグロー

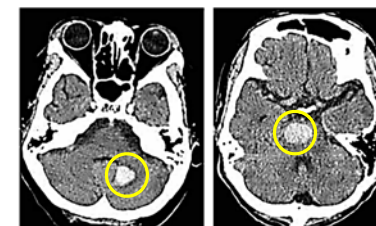
脳出血



被殻出血

視床出血

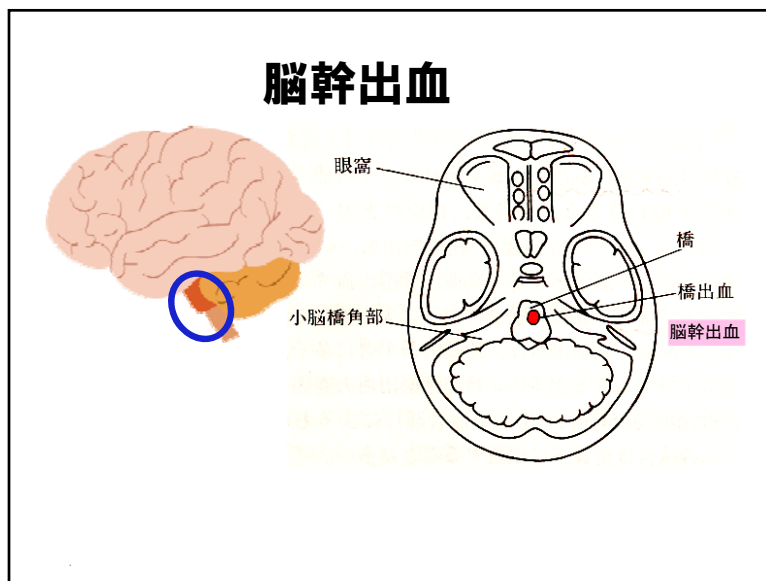
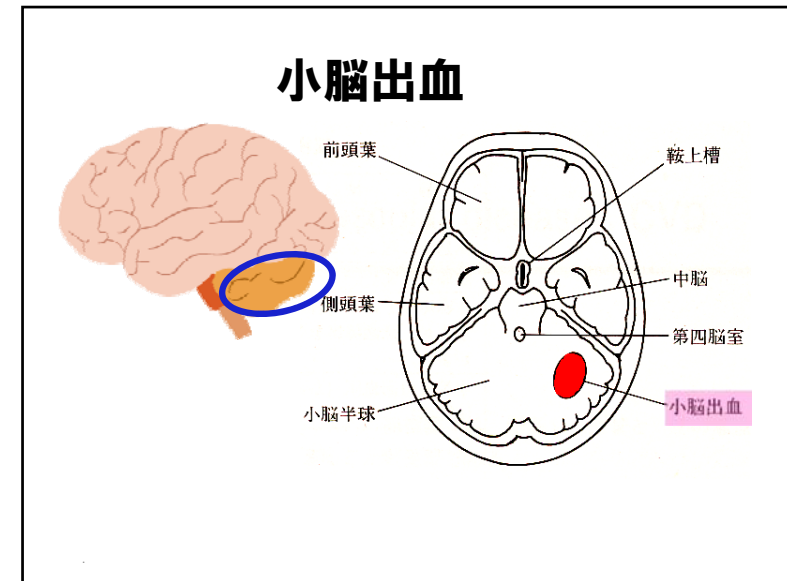
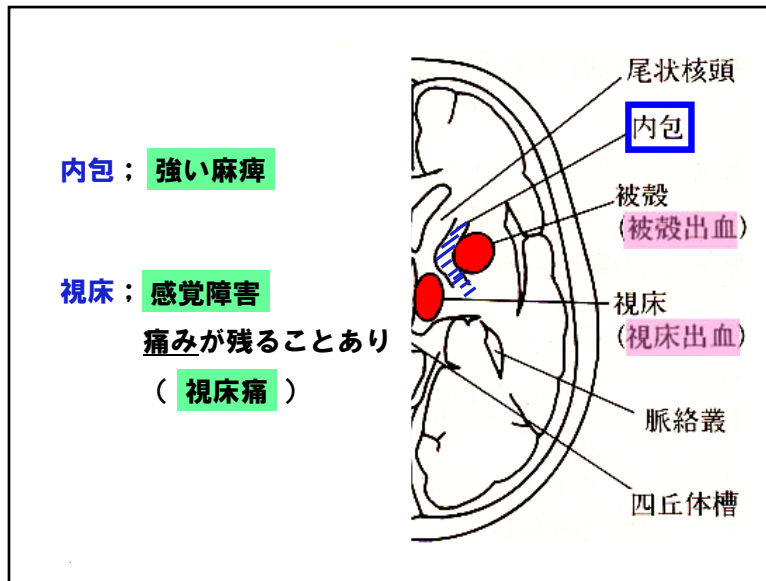
皮質下出血



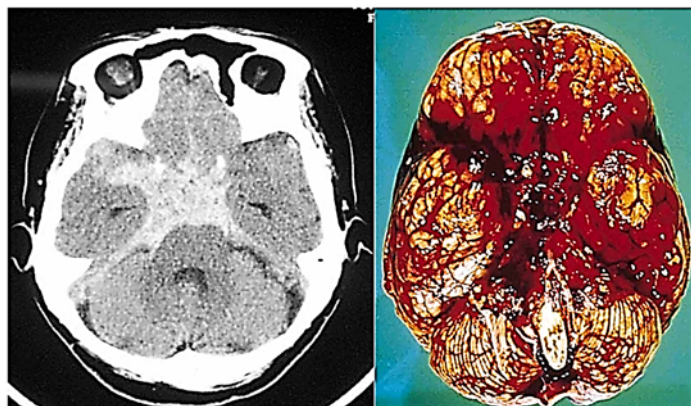
小脳出血

脳幹出血

出血部位で
症状が決まる
(大きさではない)



くも膜下出血

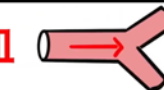


くも膜下出血の頭部 CT

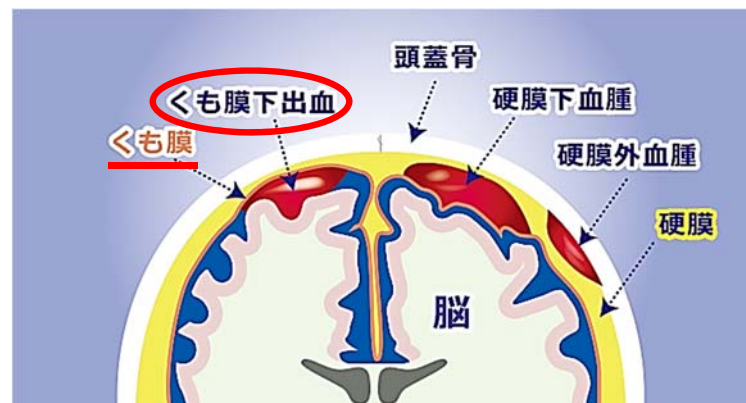
くも膜下出血の脳 (剖検例)

くも膜下出血

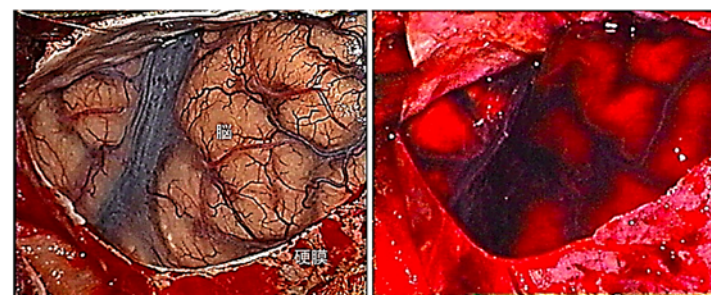
くも膜下出血



デ イカスタッフ国試対策ビデオゴロー



流山中央病院HPより



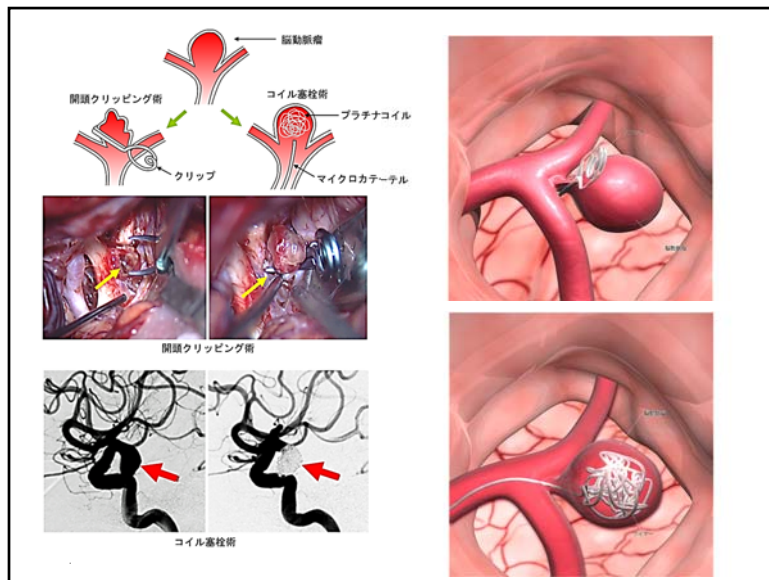
正常の脳

くも膜下出血の脳

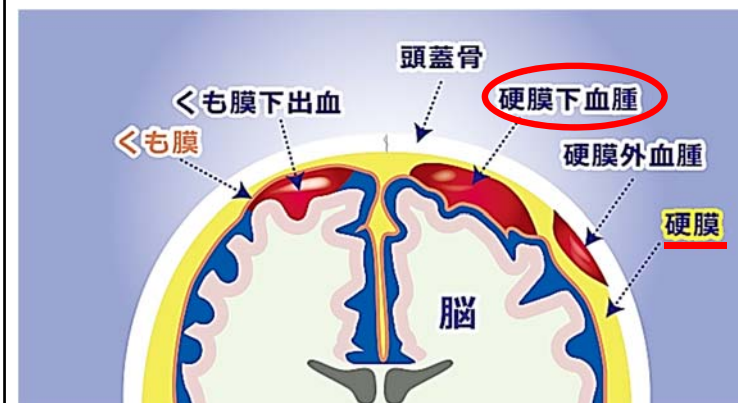
正常の脳とくも膜下出血の脳表写真



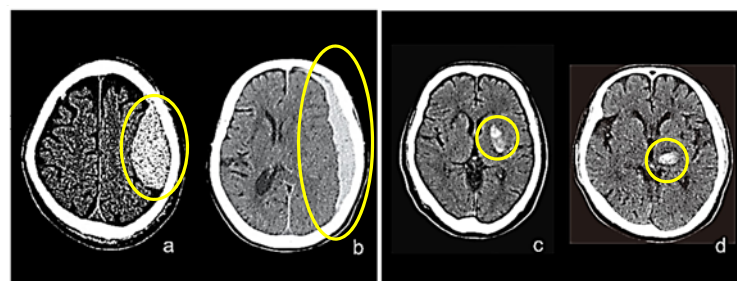
動脈瘤破裂



硬膜下血腫



流山中央病院HPより

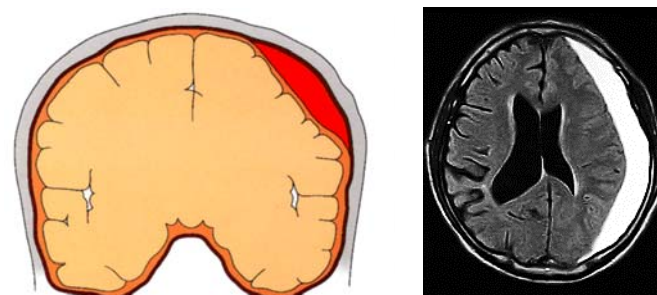


a: 急性硬膜外血腫、b: 慢性硬膜下血腫、c: 左被殻出血、d: 左視床出血

その他 くも膜下出血

慢性硬膜下血腫

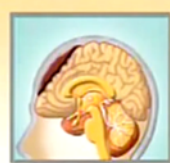
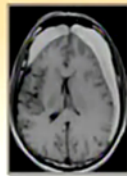
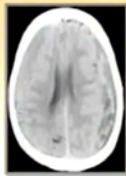
治せる認知症 で有名。転んで 数ヶ月後に 発症することも



SDH

慢性硬膜下血腫

- 主に高齢者にみられる。硬膜と脳に血腫が線状に形成される疾患
数ヶ月前の比較的軽度な頭部外傷が原因のことが多い
- アルコール常飲者の高齢者の男性に多い
- 外傷後、しばらく全く異常がなかったものが
徐々に「頭痛」、「片麻痺」、「意識障害」が出現・進行してくる
また、物忘れや見当識障害など認知症に似た症状もみられる



脳梗塞

血管が詰まる！

血管が裂ける！

脳梗塞

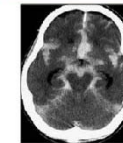
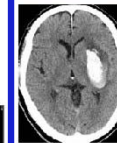
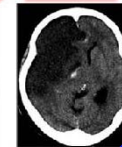
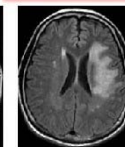
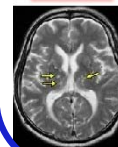
脳出血

くも膜下出血

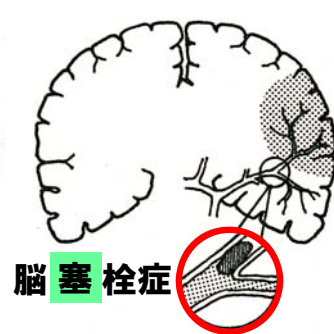
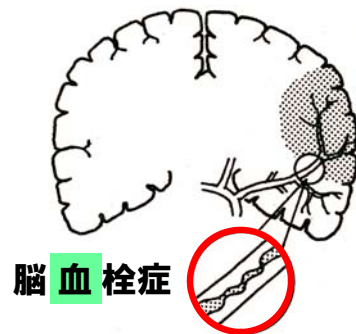
ラクナ梗塞

アテローム
血栓性梗塞

心原性
脳塞栓



脳梗塞



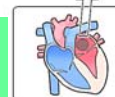
※注意：血栓がつまる

心原性脳塞栓症

アテローム血栓性脳梗塞

ラクナ梗塞

血の塊
(血栓)
太い血管



太めの血管



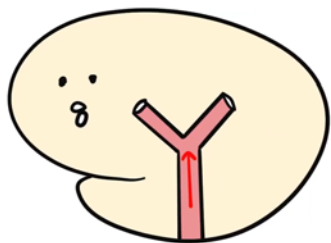
細い血管



看護RooHPより

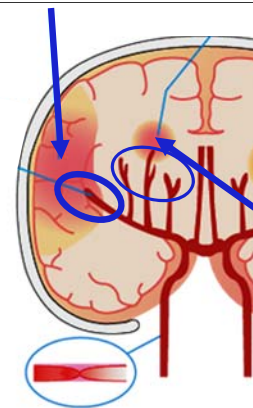
脳梗塞

脳梗塞



デ・イカスタッフ国試対策ビデオゴロー

アテローム血栓性脳梗塞



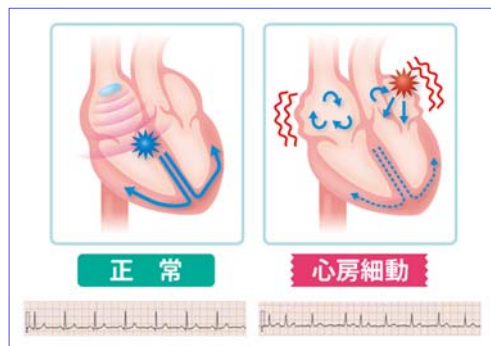
大きな脳梗塞

ラクナ梗塞

小さな脳梗塞

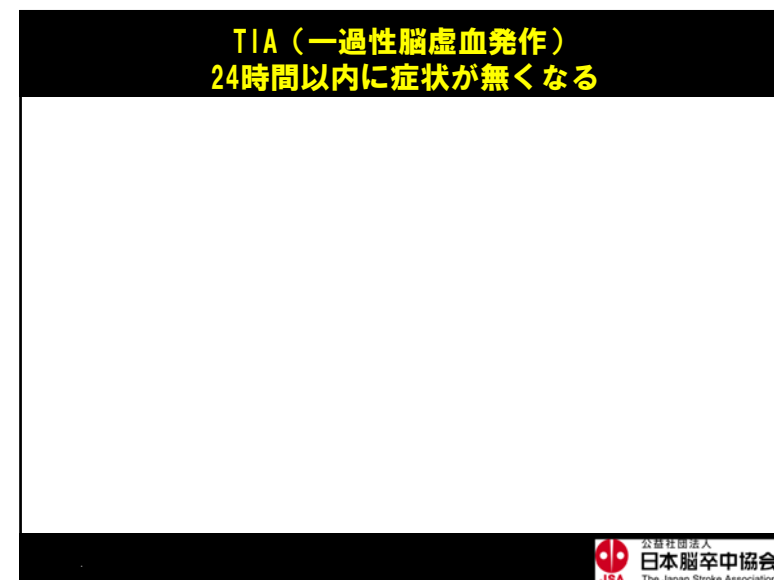
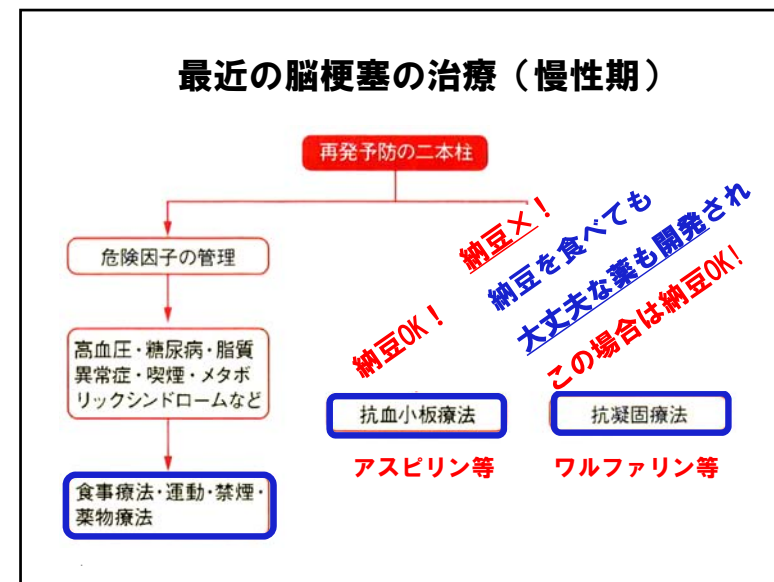
心原性脳塞栓症

血栓を作る代表的な疾患（Af;心房細動）



日本不整脈心電学会HPより引用

脈拍チェック



予防

構音障害・失語

代表的な
高次脳機能障害

構音障害



ろれつが回らない

失語症

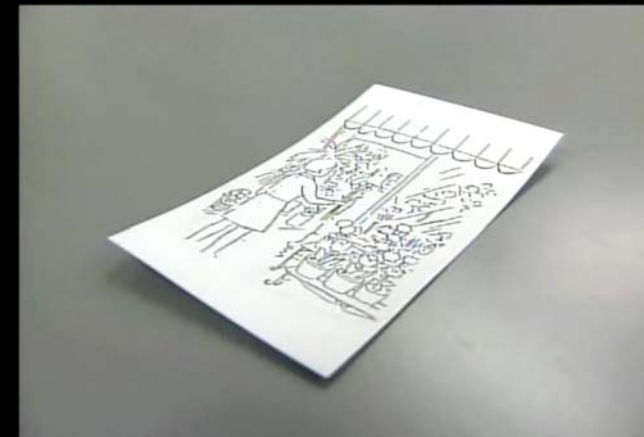


言葉が出てこない
他人の言うことが理解できない

失語は大きく分けると2つ

	運動性失語	感覚性失語
	非流暢性失語	流暢性失語
発語の量	少ない	正常または多い
発語に対する努力	努力を要する	正常
韻律	障害されている	正常
句の長さ	短い	長い
統語障害	単語の羅列が多い (失文法)	言葉としてはつながっているが、 内容はよくわからない (錯文法)
錯語	まれ	多い
言語促進	減少	増加
障害部位	ブローカ野	ウェルニッケ野

運動性失語（ブローカー失語）



感覚性失語（ウェルニッケ失語）



1. コミュニケーションは簡単に、明瞭に、そして頻回に

- 身近で具体的な言葉を、短い文章で、ゆっくり話す。
 - 使用頻度の高い具象的単語ほどよく残っている。
 - 把持力低下のため、長く早い会話は途中から理解できなくなる。
- ジェスチャー、顔や口元を見せて手がかりを与える。
 - 表情や口元の形などの手がかりは理解を促進する。
 - 電話の聞き取りは難しい。
- 静かな場所で話す。
 - 背景に音があると、聞き取りが難しくなる。
- 重度失語例にもできるだけ多く話しかける。
 - 聴覚的刺激を与える。
 - 患者の疎外感を防ぐ。

2. 意思伝達には絵カード、やさしい漢字を用いる。

- 漢字は絵と同じで見ただけで意味がわかる。50音表は音韻操作能力が必要で有効でない。

3. 小休止を入れる。

- 精神集中を要するため、非常に疲れやすい。

4. 家族の失語症への理解を深める。

- 家族は何も言えない、わからない患者に困惑している。
- 失語症は言語障害であって、知能障害ではない。
- 道具の使用障害
- 病前までの言語機能回復は稀だが、言語療法は有効であり、長期に改善は続く。

高次脳機能障害

高次
脳機能障害

失認・失行

感覚障害などが
無いのにできない

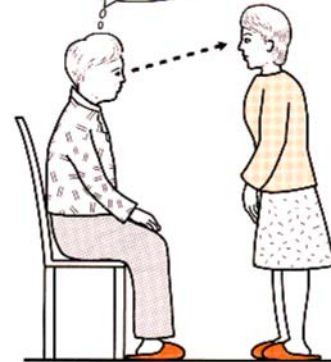


誰かな？

相貌失認

娘の真理か

具合はどう



顔を見ても誰だかわからない



声を聞くと誰だかわかる

半側空間無視

ごちそうさま...



ほとんどは
左半側無視

左右どちらかにある物が、
見えているのに認識できない

失認

失認とは

視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚に異常はないも
対象が何であるか分からなかったり状況を把握する
認知機能が低下することをいいます。



失認・失行

麻痺など無いのに
動作ができない

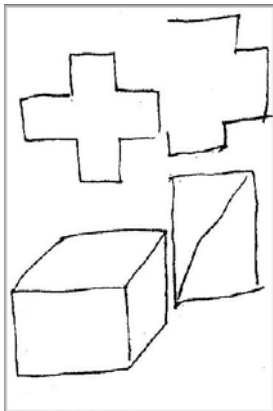


観念失行



日用品などの
使い方がわからない

構成失行



着衣失行



脳機能からみた認知症HPより

失行

失行とは

運動の機能に障害はないものの、頭では理解しているも、動作や行動ができなくなることを言います。



自靖会チャンネル

てんかん

脳血管障害後

早発性てんかん

遅発性てんかん
(数ヶ月後に発症)



てんかん (脳卒中直後や数ヶ月後に起こすことがある)



焦点起始発作



全般起始発作

焦点起始発作(部分発作)か、全般起始発作(全般性発作)かで使う抗てんかん薬が異なる。目撃証言が大切で、見分ける力を

※模擬患者による再現映像です

全般発作



てんかん

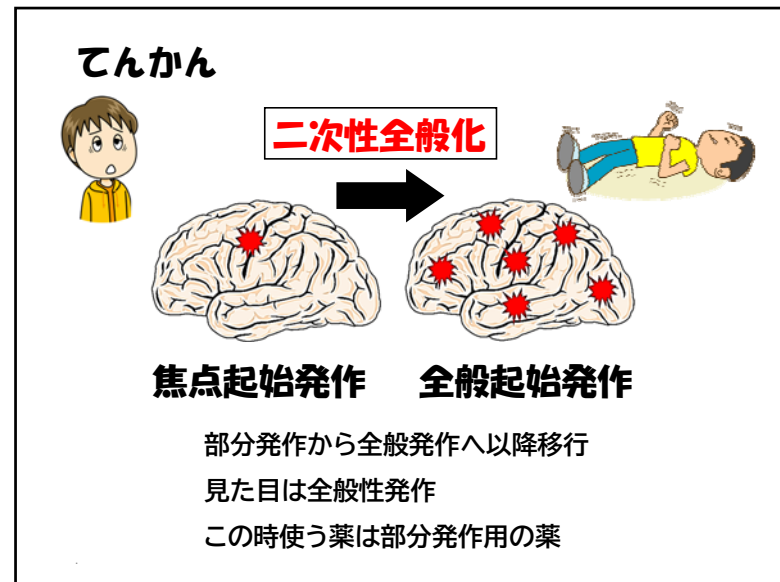


焦点起始発作



全般起始発作

全身が震えるわけではなく、ボーッとする
意識がなくなったりする(動きが止まったり、口を動かしたり)
全般性より多い



窒息対応



まずは背中をたたいて
自分の力ではき出させる



最近は**腹部**突き上げより
胸部突き上げが使われる

まとめ、復習

